



県立学校の 芝生化事業について

神奈川県 教育委員会 教育局
行政部 教育施設課

令和7年11月19日

目次

- 
- 
- 1 芝生化事業とは**
 - 2 従来の芝生化の流れ**
 - 3 芝生の維持・管理について**
 - 4 新しい取り組み**
 - 5 令和7年度の芝生化実績**
 - 5－1 住吉高校の芝生化**
 - 5－2 横浜立野高校の芝生化**
 - 6 おわりに**

1 芝生化事業とは

(1) 事業の目的

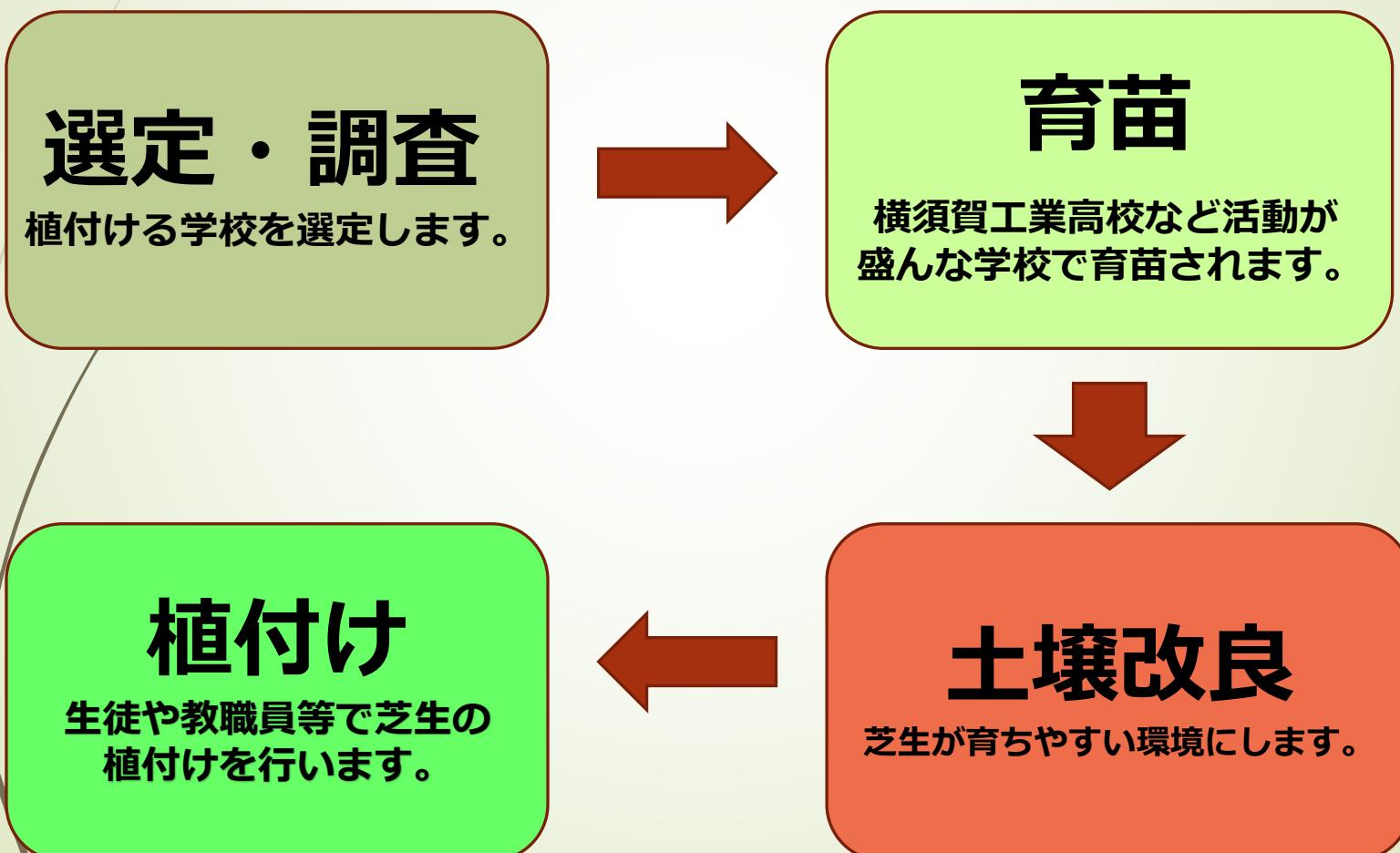
本事業は、児童・生徒のけがの防止、リラクゼーション効果や学校周辺の砂塵対策などを図るために平成21年から始まりました。

(2) 取組状況

毎年2校程度で芝生化を実施しており、令和6年度までに延べ78校で芝生化を行っています。

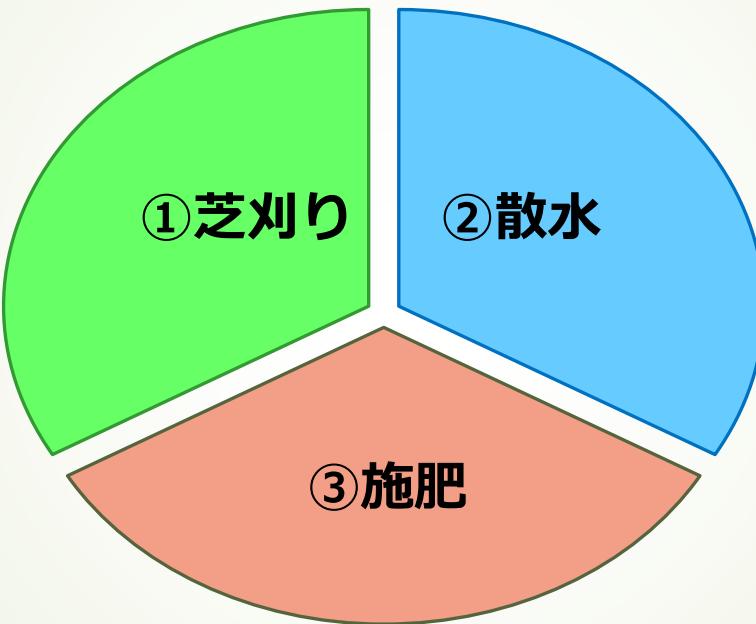
2 従来の芝生化の流れ (ポット苗方式)

選定・調査から始まり、育苗、土壤改良、植付けという流れで行います。



3 芝生の維持・管理について

芝生を維持・管理をするうえで**芝刈り、散水、施肥**の3つの作業が重要です。



→キレイな芝生を維持するためにとても**重要な作業**です。

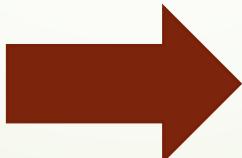
(注意：これらの作業を欠くと芝生が衰退・消滅してしまう可能性も・・・)

4 新しい取り組み(撒き芝方式)

従来は**ポット苗方式**で芝生化を行っていましたが、昨年度からは新しい取り組みの**撒き芝方式**で実施しています。

撒き芝方式とは、別施設の芝生のメンテナンス時に発生するコアリングカスを使用し、**芝生の苗（コア苗）**として利用する方式です。6月をめどに土壤改良・植付けを行います。

選定・調査



土壤改良
(植付けも行います)

5 令和7年度の芝生化実績

次の2校で芝生化を行いました。

- 住吉高校 ラクロスコートの一部
- 横浜立野高校 中庭

両校とも新しい取り組みである、**撒き芝方式**で実施しました。

⇒次のスライドでは、今年度の芝生化した学校の植付けの様子と植付け後の状態を紹介します。

5 - 1 住吉高校の芝生化



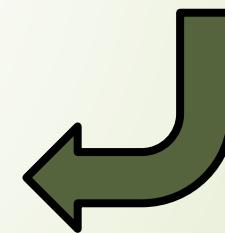
【植付け前】
(芝生が衰退)



【植付け作業】



【植付け 2 ヶ月後】



⇒ しっかりと芝が根付き、現在は体育の授業などに利用されています。

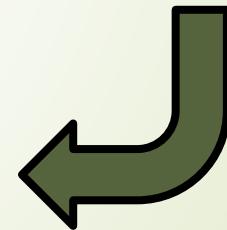
5 – 2 横浜立野高校の芝生化



【植付け前】
(芝生が衰退)



【植付け作業】



【植付け 2カ月後】

⇒芝生が復活し、憩いの場として活用されています。

6 おわりに

芝生化にあたっては、育苗や植付け、維持管理などで様々な方の協力が必要となります。

実際に芝生化した学校からは次のような感想が聞けました。

- ・芝生化以前は砂埃がひどく、周辺住民から苦情もあったが、芝生化したことによって砂塵対策にもなり、苦情がなくなって助かっている。
- ・夏場の体育授業の際に、照り返しが抑えられ、土のグラウンドよりも体感温度が下がったように感じられた。

⇒グラウンドや中庭等を芝生化することによって、砂塵対策、体感度の低下、憩いの場としての活用、ケガの防止などにつながります。



おねがい

